

総務常任委員会

令和3年11月18日午前9時00分から第一会議室で開かれた。

1. 出席委員

◎坂口 徹 大森恒太郎 井上 卓也
横田 敏文
伴 議 長

2. 欠席委員

木澤 正男

3. 理事者出席者

町 長	中西 和夫	副 町 長	乾 善亮
教 育 長	山本 雅章	総 務 部 長	面卷 昭男
総 務 課 長	仲村 佳真	同 課 長 補 佐	大塚 美季
安全安心課長	真弓 啓	同 課 長 補 佐	曾谷 博一
同 課 長 補 佐	大塚 美季	政策財政課長	福居 哲也
同 参 事	岡村 智生	税 務 課 長	福田 善行
会 計 管 理 者	黒崎 益範	教 育 次 長	栗本 公生
教委総務課長	松岡 洋右	同 課 長 補 佐	三原 進也
生涯学習課参事	平田 政彦		

4. 会議の書記

議 会 事 務 局 長 佐谷 容子 同 係 長 吉川 也子

5. 審査事項

別紙のとおり

開会（午前9時00分）

署名委員 横田委員、大森委員

委員長

おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから、総務常任委員会を開会し、本日の会議を開きます。

なお、木澤委員から欠席の通告を受けております。

初めに、町長の挨拶をお受けいたします。 中西町長。

（ 町長挨拶 ）

委員長

最初に、本委員会の会議録署名委員を私より指名します。

会議録署名委員に、横田委員、大森委員のお二人を指名します。お二人にはよろしくお願いいたします。

本日予定しております審査案件は、お手元に配付しているとおりでございます。

初めに、1. 継続審査を議題といたします。

（1）斑鳩町における発掘調査等の文化財の調査、保存及び活用に関することについて、理事者の報告を求めます。 平田生涯学習課参事。

生涯学習
課参事

それでは、1. 継続審査（1）斑鳩町における発掘調査等の文化財の調査、保存及び活用に関することについて、報告させていただきます。

はじめに、斑鳩町文化財活用センターの運営についてであります。

現在、11月28日までを期間として開催しております秋季特別展「続・聖徳太子の足跡―遠つ飛鳥と近つ飛鳥―」の関連行事として、11月6日に斑鳩町中央公民館において、講師には斑鳩町文化財活用センター長の東野治之氏と大阪府太子町教育委員会教育次長の池田貴則氏のお二人を講師に迎え、聖徳太子墓をテーマとした歴史講演会を開催しました。なお、今回の講演会におきましては、事前申込制による参加募集を行い、会場において新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置を講じた上での開催をしまして、88名の方にご参加いただいております。

次に、斑鳩町文化財活用センター運営委員会についてであります。11月9日、令和3年度第2回斑鳩町文化財活用センター運営委員会を開催し、今年度の事業進

捗状況や来年度の展示会などの事業計画について、委員のみなさまに説明や報告を行い、それに対するご指導・ご助言を賜り、その後、現在開催しております秋季特別展のご視察を行っていただきましたところでございます。

次に、史跡中宮寺跡の活用についてであります。史跡中宮寺跡の農地の状態を残した県道沿いのエリアにおいて、ボランティアと協働して育成を図ってまいりましたコスモスにつきましては、開花をし始めた10月4日から当初の終了予定を延長しまして、11月23日まで史跡中宮寺跡の多目的広場の一面を臨時駐車場として開放することとしてご利用いただいております。

以上、斑鳩町における発掘調査等の文化財の調査、保存及び活用に関することについてのご報告であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長

報告が終わりましたので、質疑、ご意見があれば、お受けいたします。

(な し)

委員長

これをもって、質疑を終結いたします。

継続審査については、報告を受け、一定の審査を行ったということで終わります。

次に、2. 各課報告事項を議題といたします。

(1) 第2期斑鳩町教育に関する大綱(素案)について、理事者の報告を求めます。 福居政策財政課長。

政策財政
課長

おはようございます。それでは、各課報告事項の(1)第2期斑鳩町教育に関する大綱(素案)につきましてご説明いたします。

本町では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、教育に関する基本的な計画として、教育理念と、教育、学術及び文化の振興に関する施策の取組方針を定めるため、平成28年2月に斑鳩町教育に関する大綱を策定しました。この対象期間とした5年が経過することに伴い、次期大綱の対象期間を令和8年度までの概ね5年間として、今年度中に第2期目の教育大綱を策定するものです。第2期大綱策定にあたっての基本的な考え方としましては、国の第3期教育振興基本計画を参酌し、第5次斑鳩町総合計画との整合性をはかるとともに、現行の教育大綱を踏襲しつつ、社会の変化を見据えた見直しを行うこととしております。

大綱の内容につきましては、資料１の施策体系（素案）をご覧くださいませうか。こちらは、大綱を一覧表でまとめたものになります。なお、大綱の策定にあたっては、同法第１条の３第２号の規定に基づき、町長、教育長及び教育委員で構成される総合教育会議において協議することとなっており、この素案は、今月１１日に開催しました斑鳩町総合教育会議に諮り、承認をいただいております。

第２期大綱は、先ほど申しあげましたように、基本的に現行の教育大綱を踏襲する方向ですすめており、改定する内容につきましては、表の右側の取組みの柱のなかで、赤色・下線でお示しした部分になります。

まず、１点目としまして、表の中央の列の施策目標の１．豊かな心を育みますの取組みの柱の４番目であります。第５次総合計画において、社会経済のグローバル化や情報通信技術の進展への対応についての取組みを追加したことから、グローバル化や情報化など、社会の変化に対応できる力の育成と改訂しております。

２点目としまして、施策目標の２．確かな学力を伸ばしますの取組みの柱の５番目であります。第５次総合計画において、解決が困難な課題に対し、子どもたちの論理的思考を習得するためのプログラミング教育を充実することとしたことから、論理的思考を育むプログラミング教育の充実を新たに追加しております。

３点目としまして、施策目標の４．教員の資質・能力を高めますの取組みの柱の５番目であります。国の第３期教育振興基本計画にありますように、教員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を進められていることから、教員の働き方改革を新たに追加しております。４点目としまして、施策目標の６．学校環境を整えますの取組みの柱の１番目であります。児童・生徒数の減少傾向や教育施設の老朽化に伴い、将来的な統廃合も見据えながら学校施設の整備をすすめる必要があることから、国の第３期計画及び第５次総合計画の内容をふまえ、施設整備の充実と最適化に改訂しております。５点目としまして、同じく施策目標の６．学校環境を整えますの取組みの柱の４番目では、ＩＣＴを効果的に活用した学習活動ができる環境整備について、国の第３期計画及び第５次総合計画の内容をふまえ、ＩＣＴ環境整備の充実を新たに追加しております。

最後に、今後の策定スケジュールについてであります。本日お示しました素案について、１２月中旬にパブリックコメントを実施する予定であります。そこで出

された意見等をふまえ、最終調整した大綱（案）を２月の町総合教育会議で協議した後、本委員会で報告させていただきまして、年度末までに、第２期大綱を策定したいと考えております。

以上で、第２期斑鳩町教育に関する大綱（素案）につきましての説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 報告が終わりましたので、質疑、ご意見があれば、お受けいたします。
横田委員。

横田委員 これの施策の進捗管理というか、これはどのように、例えば第１期だったらどのような形でやられたのでしょうか。

委員長 松岡教委総務課長。

教委総務 進捗管理につきましては、毎年、教育委員会の中ですね、点検評価という形で、事業の内容をそれぞれ確認をさせていただきまして、年度末取りまとめ、公表させていただき、また議会のほうへのご報告もあわせてさせていただくというふうな形で進めているところでございます。

委員長 ほか、よろしいですか。

（ な し ）

委員長 次に、（２）（仮称）デジタル防災行政無線システム整備事業について、理事者の報告を求めます。 真弓安全安心課長。

安全安心 それでは、各課報告事項の（２）（仮称）デジタル防災行政無線システム整備事業についてご報告いたします。

はじめに、サイレンを含みます現システムについてご報告申し上げます。

前回の総務常任委員会におきまして、修理が可能かどうかも含め、業者に確認をしているとの報告をしていたところでございます。その後、業者よりサイレンにつ

いては修理が可能であることが示され、9月27日に契約を締結し、修理作業に着手いたしております。なお、町内13か所のスピーカーから音声案内できる有線放送システムにつきましては、修理が不可能との報告があり、サイレンについては、一定の制約はあるものの修理が可能でありましたが、有線放送システムは修理ができない状況となりました。

そうした中、10月3日、日曜日の午前2時頃、龍田3丁目地内で火災が発生したところでございます。これを受けまして、業者にサイレン修理について、より急ぐように改めて指示しまして、10月6日水曜日には役場庁舎が、8日金曜日には各消防団屯所の3か所の合計4か所のサイレンが、仮復旧したところでございます。

しかしながら、これまで役場庁舎において一斉に吹鳴ができていた状態とは異なり、各施設で、直接吹鳴ボタンを押すという運用となっております。現在、これまでどおり役場庁舎から一斉吹鳴ができるよう、修理をすすめているところでございます。なお、工期は令和4年2月4日までを予定しております。

次に、導入から24年を経過している現在のシステムにつきまして、先ほど申しあげましたとおり、サイレンにつきましては修理を進め延命化を図ってまいりますが、有線放送システムにつきましては修理ができないことが判明いたしましたことから、災害発生時などの防災情報伝達を円滑かつ確実にを行うとともに、伝達手段の高度化・重層化を図るため、次期システムの整備について並行して進めてまいりたいと考えております。現段階でのおおよそのスケジュールとしましては、令和4年度中の完成をめざし、来月の12月議会におきまして、債務負担行為の予算措置をお願いし、令和4年2月には整備に係るプロポーザルを実施、業者を決定する手続きをすすめますとともに、3月議会において令和4年度当初予算に、その事業費を計上し、4月にはその業者と仮契約を締結してまいりたいと考えております。

本事業につきましては、工事期間に約1年を要しますことから、5月に臨時議会の開催をお願いし、契約のご議決を賜りたいと考えておりますので、議員みなさまには、何卒格別のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

次に、新システムの概要についてでございます。お手元の資料2をご覧くださいませでしょうか。まず初めに、現行システムについてであります。資料2の上段にありますけれども、NTTの電話回線を用いまして、サイレン及び有線放送設備と役場をつないでおります。先ほど申しあげましたが、現在、サイレンについては仮復旧での運用、有線放送システムについては使用できない状況となっております。

次に、新システムの概要でございます。資料2の中段以降ですが、整備イメージをお示ししております。新システムにつきましては、現在の13か所を想定し、デジタル無線を用いてサイレン・放送ができるようになります。よって電話回線等の配線は不要となります。イメージといたしましては、ちょっとしたラジオ放送局を設置するというふうにお考えいただくとわかりやすいのではないかと考えております。なお、この周波数には、豪雨などの環境要因に強く途切れない周波数で、多くの自治体で用いられております60MHz帯で運用してまいります。また、アナログからデジタルに変わることによりまして、例えばJ-ALERTにより送られてきた情報データを音声に自動的に変換し、屋外拡声子局で住民の方々に周知できるようになります。加えて、送られてきたデータをそのまま用いまして、エリアメールや町防災情報メールなど一括配信することもできるようになります。また、作成した音声データを電話応答装置に自動録音登録し、放送した内容が聞き取りにくかった場合などに住民の方がいつでも聞きなおすこともできるようになります。

以上、新システムの概要について、簡単にご説明させていただきましたが、委員みなさまには、格別のご理解を賜りますようお願い申しあげまして、各課報告事項の(2)(仮称)デジタル防災行政無線システム整備事業についてのご報告とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 報告が終わりましたので、質疑、ご意見があれば、お受けいたします。
井上委員。

井上委員 新しいシステムに変わるという話は十分わかるんですけども、1年間を要すって最速で1年間かかってしまうんでしょうか。

委員長 面巻総務部長。

総務部長 ただいまのご質問なんですけども、なにぶん構築にかかりまして、受注発注みたいな形で進めてまいりますことから、おおよそ最低でも1年程度は要するというふうに各メーカーのほうから聞いているところでございます。

井上委員 予算の関係ではなく、受注の機械の関係でということですか。機械の関係、受注

されるということで日にちが経ってしまうということによろしいでしょうか。

総務部長 基本的なシステムの部分につきましては、パッケージといたらおかしいんですけども、そういったものもございますけれども、それにかかりまして、各オプション関係につきましては、うちから申し込みであったり、今回はプロポーザルという形で、各メーカーから提案を受けますので、その中で斑鳩町にあったものはどうなのかということを吟味いたしまして、そこからの着手になりますので、おおむね最低でも1年かかるということで、ご理解賜りますようお願いいたします。

委員長 横田委員。

横田委員 関連ですけど、整備されるにあたってですね、当然これから決まる話だと思うんですけど、概算どのぐらいかかるんだろうという、なんかイメージはございますか。

総務部長 現在、その概算の費用につきましては積算しているところでございまして、12月の債務負担行為のところでは、きっちりとした額を概算として出させていただく予定としておりますので、よろしく願いいたします。

委員長 伴議長。

議 長 何点かお尋ねしたいんですけど、この現行のシステムというのは、ずっと30年、40年使ってきてこられたというイメージはあるんです。この庁舎になってからかなと。ほんで今、この下の図の整備イメージでいきますと、今現在近隣であっても、また奈良県内でも、他の行政はもうこれに相当変わってきてきているのか、それともうちがずっと古いの使ってきたイメージなのか、それとも、うちが県内でも新しいイメージを、また新しい設備をこれからポンとやる、そのイメージか、その辺教えてもらえますか。

総務部長 ただいまのご質問ですけども、県内の市町村におきましては、おおむねこれからうちがやるようなシステムで運用されているところでございます。

議 長 ということは、時代に即したものをしようとしてはるというか、予算もこないな
ってきてるんやというような感じでんな、もうひとつ、今、横田委員からもあった
ように予算の問題というのは絡んでくると。そこそこの金額だと私イメージするん
です。修理の時でもそこそこかかりました。これなおらへんだらえらいこっちゃな
というイメージもってましたんで。これ、国や県とかの応援といえますか、財政上
の、そういうようなもんはこれに対してはあるものなんですか。

総務部長 この整備に対しましては、いわゆる地方債の関係でございまして、想定としてお
りますのは、緊急防災事業債というものがございまして、これは後年度有利な地方
債でございまして、償還に対して交付税措置が、それが一番取れたらいいなという
ふうに考えておりまして、それを想定しながら財政措置のほうには努めてまいりた
いというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

議 長 できるだけそういうようなものを活用していただいて、財政に大きくかかわって
くるとい部分がありますので、それだけの設備じゃないかなというイメージを持
っておりますんで、そのあたりできるだけ努力をしていただいて、負担が少ないよ
うな形でお願いしたいと思います。以上です。

委員長 ほかにございませんか。

（ な し ）

委員長 次に、（３）町立学校教諭による学校徴収金の不正支出事案について、理事者の
報告を求めます。 松岡教育委員会総務課長。

教委総務
課長 おはようございます。各課報告事項（３）町立学校教諭による学校徴収金の不正
支出事案についてでございます。

このたびは、斑鳩町立学校教諭が学校徴収金を不正に支出し、私的に流用してい
たことにつきまして、児童生徒及び保護者、地域の皆様の信頼を損ねる事態となり
ましたこと深くお詫びをいたします。誠に申し訳ございませんでした。

それでは、資料３をお願いいたします。本事案の概要でございます。当事者は、

斑鳩町立斑鳩東小学校30代の男性教諭でございます。不正支出の内容でございますが、勤務校におきまして、複数学年の学校徴収金の口座から、令和3年8月から10月までの間に11回にわたり、不正に現金、およそ230万円を引き出し、私的に流用したものでございます。事案が発覚した後、不正に引き出された現金は、男性教諭から、既に全額が返還されておりまして、当該学校の支払いに遅延等の被害は確認されておりません。このことにつきまして、当該教諭の任命権者であります奈良県教育委員会に対しましては、町教育委員会から事案の経過、調査内容について報告を行いまして、その後、県教育委員会からの事情聴取を経て、当該教諭は10月29日付で懲戒免職処分となっております。また、その同日10月29日夜に、緊急の保護者会を開催いたしまして、保護者への報告と謝罪を行い、11月1日（月）には全校集会等にて子どもたちへの報告と謝罪を行ったところでございます。事案発覚以降は、男性教諭は自宅待機、欠勤扱いとなっておりますが、その後懲戒免職処分となり、この間は教頭が担任業務を代替し、学級運営を行っておりますが、奈良県教育委員会に対しまして早期の補充を強く求めているところでございます。併せまして、11月1日（月）からは、県及び町のスクールカウンセラーや相談員を派遣いたしまして、当該教諭が受け持っていた学級をはじめ関わりのあった子どもたちの心のケアにも努めているところでございます。

なお、男性教諭は、西和警察署へ自らすでに出頭しており、現在も引き続き捜査が行われているところでございます。

教育委員会といたしまして、10月28日でございますが、緊急校園長会を招集いたしまして、本件にかかる課題や反省を共有しながら、各学校、幼稚園における、学校徴収金の管理、チェック体制について、再点検を行うとともに、教職員一人ひとりの服務規律の徹底を図ることといたしておりますが、引き続き、不正行為の再発防止と児童生徒及び保護者、地域住民の信頼回復に努めてまいりたいと考えておるところでございますので、委員の皆様にはご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

委員長 報告が終わりましたので、質疑、ご意見があれば、お受けいたします。
井上委員。

井上委員 これ不正に現金を230万円引き出したと簡単に書いていると思うんですけれ

ども、これ簡単に引き出せるもんなんですか。

教委総務
課長

保護者の皆様からお預かりいたしました現金につきましては、基本すべて通帳に入金をいたします。その通帳は、本来は教員が自由に引き出すことができない仕組みになってございます。現金を引き出すには、払出用紙に金額を記入し、その用途を申告し、校長が銀行印を押印するというような形でなっております。

また、学期に1回は、担当の教員が点検を行い、誰が、どのような支出をしたのかというようなチェックを行っているところでございまして、そのチェックの段階で不正な支出事案が判明したというものでございます。

井上委員

わかりました。そのあとスクールカウンセラーや相談員等を該当校に派遣をし、対応を行っているという話で書いてありますけども、緊急保護者会を開催されたということなんですけども、緊急保護者会で父兄からどんな声があったか、少し何点か教えていただくことはできますでしょうか。

教委総務
課長

保護者会では、約130家庭からのご参加がございました。校長から経過報告と謝罪をさせていただきました後、保護者の皆様から種々ご意見をいただきました。

その内容の主なものといたしましては、目的は何であったのか、学校の管理の方法、引出しの方法、今後の管理の方法、これは出金手続き、払い込みの方法などの見直しについてでございます、あと子どもたちの心のケアについてなどといったものがございました。その他、男性教員を気遣う、擁護するなどのご意見もいただいたところでございますが、こちらにつきましては誠にありがたいお話ではございますが、残念で誠に申し訳ないことでございます。

委員長

伴議長。

議 長

この件で話させていただきたいんですが、まず、この内容、質疑の中で、私自身もわかってきたことがあるんですけども、その中でチェックから発覚したと、点検していると、11回引き出しておられると。チェックの間隔は何か月、月1回なのか、年1回なのか、11回というのはどんな間隔で、1年に渡ってされたんか、また何年間かかかっての11回なのか、そのあたり細かいこと教えていただけますか。

教委総務課長 今回のチェックについてですけれども、本年度の1学期の会計のチェックを1学期末に行いました。その後の通帳の確認といいますかタイミングが、毎月教材費等の引き落としは口座振替で行っております。口座振替がうまくできなかったと、引き落としができなかったご家庭に対しては、現金で徴収しまして、これを入金すると、現金で徴収しましてこれを口座に入金するというような手続きを毎月行います。この折を見て、その間の支出の状況を確認させていただくということでございますので、基本的には月1回の確認となるんですが、1学期の確認をしたのち、夏休みをはさみまして、9月の徴収の口座振替の結果を見て、その通帳の確認を行ったのが10月のはじめということになりますんで、やや間隔が開いたタイミングであったというところでございます。この11回でございますけれども、8月から10月のはじめにかけまして、11回にわたっての出金というふうな状況でございます。

議長 今の話で、結局、短期間にそこそこの金額を引き出されたということがわかりました。ということはチェックで漏れたと、チェックの時に気付かなかったということとはなかったんですね。ちょっとそのあたりお聞きしたいんですね。

教委総務課長 通帳を確認させていただくタイミングは、1学期ののち10月のはじめというようなタイミングでございましたので、チェックの間に漏らしたとものことではないと考えております。

議長 この件について、NHK奈良かなんかで放送され、そしてその時には白紙の用紙のようなやつも報道の中にあつたと、ちょっと私も実際にそのテレビは見てません。仕事しておったんで全然見てないんですが、何本かの電話をいただいて、住民さんから。こんなこと起こっているで、斑鳩町ってどうなっているのというようなことに、ちょっと心配のお電話をいただいた。この中でやはりテレビに映った、その白紙の払い出し用紙というのは、これどういうことですか。

教委総務課長 今回の支出につきましては、二つの方法で支出がなされております。
ひとつは、今、おっしゃいましたように銀行において急遽訂正が必要となった場合に備え、金額等が空欄になった払出用紙に銀行印を押した用紙を予備に準備をしているというような形を慣例的に行っておりました。これを5、6回に渡って無断

で使用し引き出した、これがひとつ目です。二つ目の方法といたしましては、虚偽の内容、金額を校長に申告し、払出用紙に銀行印を押印し、現金を引き出したというような二つの方法で引き出したこととなってございます。

議 長 今、説明受けて、教育長、これについてどう、今のこの白紙の払い出し用紙についてどう思われるか、ちょっとお聞かせください。

委員長 山本教育長。

教育長 今のご質問ですが、学校管理監督する者として、これほど恥ずかしいことはないということと、こちら少し甘かったなという部分を正直持っております。

 実は教員が、これは小学校、中学校、高校もそうなんですけど、払い戻しをするときに、払い出し用紙に書くときに、ひとつはミスがあったら現金を引き出すことができない、これは当たり前のことですが、その時一旦学校へ戻って書き直して、間違いないか点検して再度するというのが、これは当たり前のことなんですけども、我々もそう思っておりました。しかしながら、今、課長が申しましたように、教員が一旦行って、誤字等があったときに再度学校へ戻るといふ、その行為がやはり大変であるということで白紙を書いて、白紙のところに印鑑を押したということです。じゃあそれをするならば、なぜ白紙の印鑑押したやつを再度校長が引き取らないのか、またそれを使ったのであれば、破棄するものをどうして回収しなかったのか、というところも含めて話もさせていただきました。

 これにつきましては、年度末であります2月、3月、年度初めの4月、それから1学期末の6月、2学期末の11月、12月には校長会等で必ず体制の強化については再確認をしてきたところです。しかしながら、恥ずかしながら、そういうようなことをしているという認識すらもなかったのが、最後のチェックですね、校長が最後のチェックをする体制があっても、ソフト面のチェックがなかったということに関しましては、本当にあるまじき行為であって、校長による責任は大きいという形で、校長にも話をさせていただきながら、臨時校園長会を開いて再度こちらのほうがそういうような引き出しの方法をしている学校・園はないのか、これもチェックさせていただいて、指導したところでございます。

 本当にあってはならないこと、当たり前のことなんですけども、これについては

今後一切ないようにしてまいりたいと思っているところでございます。

議 長

いろいろ質疑させていただいて、だいたいの内容を、今、把握させていただきました。やはり斑鳩町ってそれだけじゃないんです、結局、全体を見られるんですよ。

学校の1校のそれが、本町でも白紙のそんなんではるん違うやろかと、そういうような見方を、特に報道でどうもそういう紙かなんか映ったと、そこまでなっておるというようになってくると、これ正直言っって斑鳩町というところはどんなことやというようなことになってしまう、非常に寂しい話です。あつてはならない、そりゃ何かあれば必ずそういう形であつてはならんことやと、今後気をつけます、確かにそれしかない部分があります。今後それに対して再発せえへんと。こんなん常識的なことです。これが、これは確かに手が込んで、考えててもここまではなかなか推測でけへんというようなことであればわかります、ちがいますがな。誰かて、悪用するかどうかとして、やっぱり組織として、ましてやお金、1円のお金でもきっちりしとかなあかんの。それが見本、まして学校現場と。大人の世界がこんなことしていたら、子どもに与える影響、何のための大綱、ええこと書いてくれてはったかて、ここにも学校の先生の資質と書いてまんが。そんなもん本末転倒もええところですわ、実際のところ。本当に、透き通った水でもひとつインク落としたらなるのと同じで、もうそんな感じに思われてしまっている。これは非常に由々しき問題やと私は思ってます。これについては正直言うて当然ながら対処はしてもらわなあかんやろうけども、もう聞きたいことおまへんな。普通の世の中の社会で、当たり前なことであるというのがあきませんねん。推測でけへん話はあるでしょう、正直言うて。えーっていう。そりゃ正直言うて先生も悪いけど、システム自体にも欠陥があつた、これはやっぱりそこが、これが発覚せえへんだらわからんままいつてますねや。これも問題でっせ。何のチェックしてはるんか知らんけど、そら金額のチェックだけで、運用といいますか、どんな形でやっているかっていうチェックがなされてませんわ。お金のチェックだけしてはりますねん。民間ではえらいことです。確かに当然ながらの刑事罰というのはあるやろうけども、みんなが与える財産という、斑鳩町の財産を大きく損のうたことだけ正直言うて寂しく思っています。ということだけ申しあげて、私もうこれで終わらせてもらいますけど、正直いうてこれはあきまへんな。それだけ申し添えておきます。以上です。

委員長 井上委員。

井上委員 もう1回、先ほどの確認なんですけどもね、今、教育長のほうも説明していただいたんですけども、慣例的に今までそのような形をされていたというふうな話、ずっと何年もそのような形が行われていたのか、それとあと学校3校あると思うんですけども、他の学校どういうふうな形をされていて、同じような形をされているのか、また違う形をされているのか、それと最後に今回わかりまして、今後そのような形のないように、どういうふうな形の指示をされているのかどうか、校長先生もどのような認識をされているのか、この辺ちょっと教えてください。

委員長 山本教育長。

教育長 今のご質問にお答えしたいと思います。慣例的という話をさせていただきました。これは、まず1点目はすべての学校・園で同じようなことをしているのかということにつきましては、ないという確認をさせていただいております。その確認は口頭にとどまっているんですが、ただ単に聞くだけではなくて、実際はやっていても、この場で黙っておればしてないと思われているという校園長さんいませんよねという確認もさせてもらいながら、突っ込んで話をさせてもらいました。そういった白紙のを使っている状況というのは、他の小学校・中学校・幼稚園では確認しておりません。それから、当該小学校なんですけど、慣例的というのは、過去何年にさかのぼるのかというところは、ちょっと不透明なんですけども、今、現校長の段階ではそうであったというように確認しております。従って今年だけではなくて、昨年もそうであった。ただ、すべてがすべて今回のように白紙の状態が活用されたということはないですけども、その運用はされていたというのは事実でございます。

それから再発防止についてなんですけども、今、厳しいご指摘もいただいたとおりでございます。この確認事項、この3つの観点で、われわれ確認させてもらっているんですが、1点目については体制が整っておっても、チェックの甘さ、教員の意識の甘さ等々がもたらしたことがこれですので、今回預かった徴収金、公金も含めてですけれども、今後支出等にかかわっての方法も含めて検討が必要かなと思っております。2点目は、これも先ほどご指摘いただいたところなんですけども、教諭の資質についての問題になってまいります。子どもたちには、法を説くとか、道

を説くとか、学を説くという立場の教師でございます。教育公務員として、自らがどういうあるべきものなのかというのを、教員は知っているはずなんですけども、やはり先生、先生という名前の中で、ちょっと資質の部分が忘れてるんじゃないかという話も校長のほうから再度職員に流すように指示しているところでございます。そういった教員の、先ほど資質という話もさせていただきましたけれども、当たり前なことなんですけれども、教育者としての考え方なり行動なり言動なりを再度見つめるという取り組みもさらに強化してまいりたい。

そして3点目、松岡課長のほうが、保護者会にも参加して、その中で擁護する声という話もございました。いわゆるメンタルの話でございます。先生方ストレスがあったのではないですか、という話もございました。ストレスというのが、どなたも皆様もお仕事しておったら持つものであって、いかなるストレスがあっても、そういった行為に及ぶということはまた別の話であって、断じて許されるものではありませんし、ただ、ストレスがあるとするならば、このストレスにつきましては、年に2回、6月・7月のいずれか、また11月にすべての教員に対して個人面談をするという形で、これは明記しておりますので、今、町内の小・中学校、幼稚園では実施しております。その中で、気付かなかったのかという点検もさせていただきながら、教頭は職員室におりますので、先生方の言動行動でメンタル面で弱っているな等々も、すべてわかる立場にありますので、管理職としての意識の確認等をあわせて再発防止につとめてまいりたいと、そのように思っております。

委員長 大森委員。

大森委員 僕、東小のことはよくわからないんですけど、基本的に事務員さん雇ってはと思うんですけど、僕、ちょっと経験で、引き落としできなくて、事務員さんから請求がきて、事務員さんにお金を渡すという形があるんですけど、基本的に銀行も出入り、わざわざ学校に来て出入りしている、先生が下ろしに行くっていうこと自体が、そんなことがあり得るのかどうか教えてもらいたいんですけども。

委員長 松岡教委総務課長。

教委総務 口座振替ができなかった場合の保護者の皆様への集金のご案内につきましては、

課長 事務の手続きの中で行っているところでございますけれども、そこで集金させていただいた現金につきましては、各学年の担当を教員の中から決めて口座を管理しているところで、通帳の管理をしているところでございます。それぞれ教材の支払い等につきまして、現金での集金というのは、業者への支払いは現金というのが、今、一般的な形で行われておりますことから、各学年の会計担当の教員が銀行から現金を引き出しをしまして学校に持ち帰り、業者へお支払いをするというような形が今の運用でございます。

大森委員 わかりました。それだったらわかんないですけど、銀行が出入りしているんだったら、その時にわざわざ教員が下ろしに行く必要性がなくて、銀行の人がお金を持ってきたら、先生も何人かでチェックできる体制が整うんじゃないかなと思うんですけど、まあそれはまた考えてもらったらいいとは思うんで、それだけちょっと言いたかったなと思ったんです。

委員長 ほかよろしいですか。

(な し)

委員長 それでは、次に、（４）斑鳩町ホームページトップページリニューアルについて、理事者の報告を求めます。 仲村総務課長。

総務課長 それでは、各課報告事項の４番目、斑鳩町ホームページトップページのリニューアルについてご説明をさせていただきます。

本町のホームページにつきましては、利用者にとって、より多彩で、わかりやすい、関心が持てる情報発信を行うとともに、広報担当課だけでなく、担当各課において、容易にページ作成・管理ができる効率的なシステムを構築するため、平成２８年４月にホームページのリニューアルを行ったところでございます。

しかしながら、前回のリニューアルから５年が経過し、情報発信技術やホームページの作成・運用・管理などに関する技術がさらに進歩している状況であり、より一層の情報の探しやすさやに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及による、これらの機器に対応したホームページのデザインが求められており、町議会の皆様

方からも、町ホームページに関するご意見を賜ってきたところでございます。

こうしたことを受け、本年度、斑鳩町ホームページトップページのリニューアルを行うことといたしましたので、その内容等につきまして、ご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、資料番号4の斑鳩町ホームページトップページのリニューアルについてという標題の資料をご覧くださいませでしょうか。

はじめに、1 現状の斑鳩町ホームページの主な課題についてであります。

現状の本町ホームページの課題につきましては、大きく3点あると考えております。ひとつ目は、画像やアイコンが小さく、地味な印象で関心をひきにくい。2つ目は、目的の情報を探しにくい。3つ目は、スマートフォン用サイトではパソコン用サイトよりも、上記課題が顕著である、であります。次に、2 リニューアルに際しての基本理念についてであります。今回の、リニューアルに際しましては、先程、申しあげた課題を解決すべく、次の2点を基本理念として行うこととしております。ひとつ目は、誰もが使いやすいページの構築として、アクセシビリティやユーザビリティに十分配慮しながら、探している情報に、直感的にたどり着きやすいページを構築する。二つ目は、本町の特徴を踏まえたデザインの採用として、見やすさ・使いやすさを重視しつつも、歴史ある斑鳩町らしいデザイン・レイアウトを採用することにより、魅力あるトップページを構築する、であります。

次に、3 リニューアルに際しての基本方針についてであります。先程、申しあげた2点の基本理念に基づき、大きく次の3つの観点に基づき、リニューアルを実施する方針としております。ひとつ目は、レスポンシブルWebデザインの採用として、スマートフォンやタブレットなど、閲覧する機器の画面の大きさに合わせて、自動的に表示サイズが最適化される仕組みを構築する。二つ目は、閲覧者が目的の情報に直感的に、たどり着くための機能拡充として、見出しやカテゴリ分類の見直し等に加え、検索機能の充実として、キーワード検索を大きく目立つ位置に配置することなどで、目的の情報を検索しやすくするデザインを構築する。三つ目は、わかりやすさに注目したデザインの導入として、レイアウト・配置の工夫や、掲載されている情報が一目でわかるアイコンを活用するなど、視覚的にわかりやすいデザインとする。また、メインビジュアルのスライドショーなどを導入することにより、緊急性・必要性が高い情報などは目立つ位置に配置する、であります。

最後に、リニューアル予定日についてであります。現在、既に、本町ホームペ

ージのコンテンツマネジメントシステムの製作事業者となりますシステム株式会社と契約を締結し、先ほど、申しあげた3つの基本方針に即して作業を進めておりまして、リニューアル予定日につきましては、来年3月1日を予定しているところでございます。

なお、次のページに、参考といたしまして、A3版の資料で、右側が現在の町ホームページのトップページのデザインを、そして左側に、現時点でのトップページのデザイン案を対比的に配した資料をご用意をさせていただいております。

今後、さらに町内部での調整を重ねながら、最終的なデザイン案の取り纏めを行ってまいりたいと考えております。

以上、各課報告事項の4番目、斑鳩町ホームページトップページのリニューアルについてのご説明とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

委員長

報告が終わりましたので、質疑、ご意見があれば、お受けいたします。

(な し)

委員長

他に、理事者側から報告しておくことはございませんか。 仲村総務課長。

総務課長

総務課から1点ございます。職員採用試験についてでございます。

本年度、7月から9月にかけて、実施いたしました職員採用試験の結果、一般事務職4名、土木技術職1名、考古学技師1名、保育士・幼稚園教諭2名、合計8名の採用を予定しております。なお、一般事務職の4名のうち、1名は障害者区分からの採用を予定しております。また、本年度も、採用候補者名簿に、いわゆる補欠合格者の登録を行っており、今後、辞退等が生じた場合におきましては、繰上げ採用を行ってまいりたいと考えております。

次に、保健師に関する職員採用試験の実施についてでございます。令和4年4月1日採用の保健師に関する職員採用試験を実施いたします。第1次試験につきましては、適性検査及び書類選考の2つの方法を組み合わせた試験といたします。このうち、基礎能力問題と性格検査で職務適性等を測定する目的で実施する適性検査につきましては、令和4年1月14日から1月21日までの間、自宅等におけるWeb試験方式といたします。次に、受験可能年齢につきましては、40歳以下として、

実施することとします。なお、試験の概要につきましては、11月号の広報いかるがお知らせ版及び町ホームページに関係記事を掲載しているところでございます。

以上、職員採用試験についてのご報告とさせていただきます。

委員長

真弓安全安心課長。

安全安心
課長

安全安心課から1点、法隆寺におけます避難所開設・運営訓練の実施についてでございます。

本年度は、12月13日、月曜日、午後1時30分から法隆寺境内、聖徳会館等において実施を予定しております。

奈良県防災士会の指導によります、コロナ禍での避難所開設・運営訓練をはじめ、地震から身を守る行動を訓練するシェイクアウト訓練、斑鳩町社会福祉協議会による講話を行うこととしております。また、訓練参加団体につきましては、町内の自主防災組織等を予定しており、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訓練参加者を少なくして実施することとしており、参加者を各団体2名ずつに限らせていただくなどし、実施することといたしております。

以上、法隆寺における避難所開設・運営訓練につきましてのご報告とさせていただきます。安全安心課からは、以上です。

委員長

松岡教委総務課長。

教委総務
課長

教育委員会事務局総務課から2点ございます。

1点目は、町立学校における生理用品の配布についてについてでございます。

先の9月議会の一般質問におきまして、生理の貧困への対応のため学校における生理用品の配布について、児童生徒が利用しやすい方法を、各学校とも協議をし、改めてご報告させていただくこととしておりましたので、その状況の報告をさせていただくものでございます。9月の定例校園長会にて、各小・中学校に対しまして、実施可能な方法について検討を要請しましたところ、保健だよりで児童、家庭に呼びかける。トイレ内の個室や手洗い場に周知ポスターを掲出する。保健室のほか事務室や女性教員がいる特別教室などでも、生理用品を受け取ることができるよう設置場所を増やす。トイレの個室、手洗い場や受取場所の入口に意思表示カードを

設置し、提示するだけで受け取ることができるようにする。保健だよりに切り取り式のチケットをつけて配布し、これを提示することにより生理用品を受け取ることができるようにするなどの提案がございました。10月の定例校園長会におきましては、これらの情報を共有いたしまして、各学校において速やかに準備を整え、実施することといたしております。また、先の一般質問にもございましたように、言い出しにくいとの声があるとのことでございますが、このことにつきましては非常にデリケートな内容でございます。クラウド学習ツール等を活用した実態調査について、プライバシー保護に留意をしながら、その設問内容も含め検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。

2点目は、斑鳩町公私連携幼保連携型認定こども園設置運営事業者募集の進捗状況についてでございます。

当該募集につきましては、本年9月3日に募集要項の公表を行い、10月5日から10月8日までの間におきまして、4つの法人から参加表明があったところでございます。今後の予定でございますが、12月20日から12月24日までの間に事業提案書の受付を行い、令和4年1月中旬のヒアリング審査を経て、優先交渉権者及び次点交渉権者を決定後、町ホームページにおいて公表してまいります。

その後、優先交渉権者と認定こども園法第34条に基づく協定内容について協議を行い、令和4年3月中に協定を締結し、令和4年度と令和5年度の2か年で施設整備を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

委員長 他にございませんか。

(な し)

委員長 報告が終わりましたので、質疑、ご意見があれば、お受けいたします。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって、各課報告事項については終わります。

続きまして、3. その他について、各委員から質疑、ご意見があれば、お受けいたします。

(な し)

委員長

なければ、私のほうから、現在、当委員会は議員辞職により副委員長が欠員となっております。他にも欠員のある委員会があり、このことにつきましては11月22日の議会運営委員会で協議される予定とお聞きしておりますので、その結果を受けまして、12月9日の当委員会でその取扱いについて相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。なお、斑鳩町議会委員会条例第11条第2項において、「委員長及び副委員長とともに事故あるときは、年長の委員が委員長の職務を行う」とあるため、そのような場合は、年長の委員にお願いすることとなりますことを確認しておきます。よろしくお願いいたします。

ほか、よろしいですか。

(な し)

委員長

ないようですので、これをもって、その他については終わります。

以上をもちまして、本日の審査案件については全て終了しました。

なお、本日の委員会報告のまとめについては、委員長にご一任いただきたいと思いますと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。

それでは、閉会にあたり、町長の挨拶をお受けします。 中西町長。

(町長挨拶)

委員長

これをもって、総務常任委員会を閉会します。

お疲れさまでした。

(午前9時57分 閉会)